



2 年学級活動（校内研究会）・4 年理科（指導主事訪問）

11 月 29 日に 2 年生の学級活動の校内研究会を行いました。

学級活動というのは、いわゆる学級会。議題は「ろうかの名前がついたよ！おめでとうの会を開こう」でした。廊下を走ることでトラブルも増えてきたことや、1 年生も廊下を走るようになってきたことから、廊下での過ごし方を改善することとし、自分たちの廊下に名前をつけたいということになったのだそうです。1 年生と一緒に考えた名前が「右あるき やくそく まもロード」。なかなかいい名前



です。さらに廊下でのルールを守ろうという意識を高めるために、名前がついたことを祝う会を開くことになり、その会の内容を考える学級活動というわけです。



学級会では、2 年生なりに議題の提案理由を踏まえた発言もあり感心しました。あらかじめ、自分の考えをもって臨んでいたこともあり、みんなが積極的に自分の意見を発表することができていました。本校では、表現力（相手に分かりやす

く伝える力や言葉をつなげて話し合う姿）の育成のために学級活動に力を入れています。学級活動で育てた力が他の教科にも生きてくることを期待したいと思います。

12 月 1 日は指導主事訪問で 4 年生の理科の授業を行いました。

単元は「物の体積と温度」。空気や水の体積は、温度の変化によって大きくなったり小さくなったりすることを学んだ後の、金属の体積変化の学習です。「金属を温めたり冷やしたりすると、金属の体積は変わるのだろうか。」という学習問題で、予想しそれを確かめる実験方法を考えるという授業でした。授業者の智美先生は、初めての理科の研究授業。理科は大の苦手と言いながらも、学習問題作りから始まる理科の問題解決の過程を大切に、一人一人が自分事として学習問題を捉えられるように丁寧に学習を進めていました。指導主事の先生からは、これまでの学習を振り返られるように一人一人の実験結果をまとめた表などの学習環境の素晴らしさや、子どもたちが真剣に話し合いながら実験方法を考える学習に向かう姿勢の素晴らしさにお褒めの言葉をいただきました。これならば一人一人が実感を伴って体積変化を理解していくことができると思える授業でした。



私は一応理科教師ですので、子どもたちも、そして担任も理科に一生懸命取り組んでいる姿を嬉しく思いながら参観しました。